

時間割コード	G1D11522	開講年度	2026				
授業題目	プラクティカル・イングリッシュ I 【EA】					担当教員	長谷部 めぐみ
英文授業名	Practical English I						
単位数	1	講義期間	前期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	再履修生
講義室				授業形態	e-Learning 遠隔授業科目 該当	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	大学DP						
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力					⇔	英語を使い他者とコミュニケーションを取ることができるようになる。
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	日常英語やビジネス英語など実用的な英文（ 広告・案内文・手紙など ）を多く読み、日常的な英会話を聞き理解する。併せて、実用的な英語表現・文法・語法・コロケーションの確認、ビジネスや日常場面での頻出語彙の確認、リスニング・リーディングの演習も行うことにより、プラクティカルな受信型の英語コミュニケーション能力（主にリスニングスキル及びリーディングスキル）を養っていく。 結果として、英語資格試験において求められるスキル（語彙力・文法力・リスニングスキル・リーディングスキル）の習熟にもつながる。						
(5)授業のキーワード	Practical English		Listening Skill		Reading Skill		
(6)授業計画	① ガイダンス, Reallyenglishの説明, Malaysia ② 確認テスト, Malaysia, Entertainment ③ 確認テスト, Egypt, Entertainment ④ 確認テスト, Egypt, Eating Out ⑤ 確認テスト, Italy, Eating Out ⑥ 確認テスト, Italy, Office Supplies ⑦ 確認テスト, The DRC, Office Supplies ⑧ 確認テスト, The DRC, Hospital ⑨ 確認テスト, Sweden, Hospital ⑩ 確認テスト, Sweden, Transportation ⑪ 確認テスト, The UAE, Transportation ⑫ 確認テスト, The UAE, Technology ⑬ 確認テスト, Estonia, Technology ⑭ 確認テスト, Estonia, Personnel ⑮ 確認テスト, Personnel, 授業アンケート ⑯ 期末試験						
(7)成績評価の方法	① 授業課題(10%) ② 事前事後課題(15%) ③ 確認テスト(15%) ④ 期末試験(40%) ⑤ TOEIC IPテストのスコア(10%) （評価点(10%)へのスコア換算式：取得スコア×0.02 【上限10%】） ④「Practical English 9 (Reallyenglish)」の自学自習(10%) ----- ・授業課題：授業中に実施する課題 ・事前課題：授業準備のための課題 ・事後課題：授業の確認課題、語彙を増やすための課題 ・確認テスト：各授業の習熟度を測るテスト ・期末試験：授業内容と同レベルの実力問題 -----						
(8)成績評価の基準	授業で解説した内容と同レベルの問題が 60%以上解ければ「合格水準にある(可)」 70%以上解ければ「合格水準よりやや上にある(良)」 80%以上解ければ「合格水準よりかなり上にある(優)」 90%以上解ければ「卓越している(秀)」 とみなす。						
(9)事前事後学習の内容	・この授業は1単位のため、15時間以上の授業時間外学習を必要とします。 ・事前事後課題は、eALPSを用いて行います。eALPSの指示に従って行ってください。各課題の内容は以下の通りです。 ・事前課題は、【授業に向けての予習】です。 ・事後課題は、【授業内容を確認する課題】と、TOEIC IP Testに向けて【語彙を増やす課題】です。						
(10)履修上の注意	・この授業は、松本キャンパス以外の再履修生を対象とした「オンデマンド型」のクラスです。 ・初回授業開始日（4/13）までに、履修登録を完了させてください。 ・第1講の受講期間は、4/13-4/18です。履修登録が遅れた場合も欠席扱いとします。						

(10)履修上の注意	・課題は、基本的に毎週月曜9:00にeALPSに課題アップし、その週の土曜の23:00を締切です。6日間の受講期間全体を通して「出席停止」および「学修の補充の対象とする事由」に該当した場合のみ、学習の補充の対象とします。 ・授業の出席は、【課題への取り組み】で確認します。その回のすべての課題を終え、締切までに提出した場合のみ出席とみなします。 ・授業コンテンツに動画や音声がある場合は、視聴履歴を確認したうえで、【授業課題の完了】や【授業の出席/欠席】を判断します。 ・この授業の達成目標に到達するためには、課題への意欲的な取り組みが必要です。
(11)質問,相談への対応	メールにて質問や相談に対応する。 メールアドレス：hmegu3@shinshu-u.ac.jp
(12)授業への出席	・全ての回に出席することを基本とします。 ・授業を4回以上欠席した場合、この授業の達成目標に到達することができないため、成績評価の対象外（評点は0点）となります。 ・感染症報告システムに登録し「出席停止」と判断され、授業に出席できなかった場合は欠席とはみなしません。 ・「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により、授業に出席できなかった場合は欠席とします。
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	・「出席停止」により授業に出席できなかった場合は、健康安全センターからのメールを担当教員に転送して、学修の補充に関する指示を受けてください。（『共通教育履修案内』参照） ・「出席停止」ではなく「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により出席できず、補充を希望する場合は、所定の方法（『共通教育履修案内』参照）により、共通教育窓口で申請してください。（この場合は、出席扱いにはなりません。）
【教科書】	指定しない
【参考書】	適宜、紹介します。